

令和3年度活動報告

はじめに

昨年同様に感染症の影響により、各町内会では大勢が参加する防災訓練は中止となり、また学校でも防災訓練が中止されるなど防災訓練は思うようにいきませんでした。しかしながら、予定の活動については、ほぼ達成することができたと思います。その活動については活動報告に記載してありますが、その活動の中からいくつかの特徴的な活動について報告いたします。

1) 重点地区の浜分地区での防災活動について

浜分地区での防災活動については、事務局が昨年5月に浜分地区町会連絡協議会で自主防災組織結成の要請行っています。これを契機として、浜分地区では町内会の役員によるフィールドワークや学習会が実施されています。また、連絡会議では避難所である浜分中学校への学校訪問も行い、中学校での防災訓練や学習会も地域と連携して行われていることも分かりました。今後はこれらの活動を浜分地区全体に広めていくことが大事です。連絡会議は浜分地区での防災活動を今後も地域の要請に基づいて支援をしていきたいと思っております。

2) スキルアップ活動

高齢者大学の講師として、浜分地区、大野地区、それに中央地区の3か所で防災講座を行いました。それぞれの地域での災害リスクを念頭に置いて、防災以外の話題も提供しています。評価はますますかなと思っています。もう一つの活動は、活断層のトレンチが行われた大野でのフィールドワークです。講師は教育大学の紀藤典夫先生にお願いして実施しました。大野川の右岸の露頭観察などもでき、活断層の地層は埋められて見ることはできませんが、保存してほしい地層だと思っています。これを見れば活断層のイメージを焼き付けることができるからです。専門家の案内によるフィールドワークは防災を進めるうえでは大事なものです。次年度もフィールドワークを実施したいと思っていますので、ご参加をお願いいたします。百聞は一見にしかず。百見は一考にしかず・・・！

3) 学校との連携

高齢者大学では教育委員会と、上磯小学校とは郊外学習（避難訓練）、上磯高校とは避難所運営ゲームのサポートや学校訪問を通じて、連絡会議との連携が少し進んでいます。久根別小学校での避難訓練、防災教室が中止となりましたが、今後も引き続いて学校、町内会、連絡会議との連携を図ることが必要と思っています。

4) 市との連携と課題

昨年の7月、道は新たな津波浸水範囲を公表。この公表は半年も遅れて発表され、したがって津波に関しての新たな避難場所や避難所についての精査の遅れ、町内会としては動きづらい状況になっていました。しかし、市の津波災害警戒区域の指定も終了し、市のHPで津波警戒区域図の閲覧が可能となっています。また、市の防災HPはリニューアルされ、連絡会議の活動や通信なども閲覧できるようになっています。それ以外にも防災情報を見ることができますので、地域の防災に北斗市のHPをご活用いただきたいと思います。

令和3年（2021年）の活動報告

- 01) 第1回運営会議 4月12日 17:30～市役所
- 02) 第2回運営会議 5月10日
- 03) 北斗市浜分ふれあい大学 5月28日 上野、高橋、菱田
- 04) 活断層フィールドワーク 5月30日（日） 10時から11時
ガイド・・・紀藤典夫氏（北海道教育大学函館校教授） 事務局2名を含む13名参加
- 05) 第3回運営会議 6月14日
- 06) 北斗市せせらぎ大学 6月15日 公民館 高橋、上野
- 07) 北斗市きらめき大学 6月18日 総合文化センター 上野
- 08) 第4回運営会議 7月12日
- 09) 第5回運営会議 低気圧の発達のため会議は中止
- 10) 上磯高校訪問 8月17日 参加者8名 事務局3名
- 11) 総合防災訓練（事前研修会） 9月9日 総合文化センター
- 12) 第5回運営会議 9月13日
- 13) 上磯高校での「Doはぐ」演習サポート 9月17日 上磯高校
- 14) 第6回運営会議 10月11日
- 15) 第7回運営会議 11月8日
- 16) 浜分中学校訪問 11月10日 5名参加、対応は中学校教頭
- 17) 避難所運営ゲームの北海道版（Doはぐ）講師養成研修会 11月21日
連絡会議から5名参加、事務局から2名参加
- 18) 津波避難ビル運用についての説明会 12月6日 道営住宅常盤団地集会所
事務局から4名、団地の自治会、近隣の町内会から6名参加
- 19) 第8回運営会議 12月13日
- 20) 北海道防災総合訓練（厳冬期）12月18日～19日 総合体育館 19名参加
- 21) 北海道社会貢献表彰式出席 2022年3月4日 上野、吉川係長 渡島振興局
- 22) 代表会議 2022年3月30日 代表3人、事務局4人 市役所

■「防災連絡会議だより」の発行 今年も市民号を発行

13号から19号までの7号を発行。市民向けの通信15号は9月3日に全戸配布。市民号の特集は熊本昇さん（久根別）の幼少期に体験した洞爺丸台風をテーマとした「台風が教えてくれたこと」でした。こうした過去の災害をテーマに学ぶことも大事な防災活動としますので、会員の方々の投稿をお願いします。